

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室オレンジ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月16日		～ 令和8年 2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 2月16日		～ 令和8年 2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/2		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い支援の専門性と保護者様からの満足度、また職員配置、専門的な支援を丁寧に行う体制が整っており、保護者満足度が高い点は大きな強みです。	個別支援計画を保護者様に説明し、日々の支援を記録して共有しています。また専門資格を保持している職員を配置し、専門的な視点でお子様へ支援させていただいております。	ケース会議を定期開催し、多職種で支援方法を検討しております。
2	安全管理と訓練の徹底、事故防止や緊急時対応などのマニュアル整備と訓練実施により、安全な支援環境を保てるように維持しております。	事故防止マニュアル、緊急時対応、感染症対応、BCP等を整備し、定期的に訓練を実施しています。また、訓練記録も教室内に保管しており、反省点などをまとめ、次回訓練時へ展開しております。	訓練の実施記録やよかった点、反省する点を事業所内に蓄積し、事業所の知見としていきたいと考えております。
3	保護者対応の丁寧さと日々の活動状況の共有：アプリを利用して日々の活動内容を保護者様へお伝えしております。また送迎時の短時間の情報交換も大切にしております。	コロナヘルプアプリでの日常の活動報告、メッセージアプリでの個別連絡、相談対応、送迎時の口頭共有を組み合わせ情報伝達を行っております。また、クッキング活動の際にはアレルギーの確認も怠らず実施しております。	情報発信(ブログ等)、月間予定や行事報告を引き続き継続してまいります。また、情報の見落としを防ぐため、職員間での共有を徹底しております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様のニーズに応じた交流機会を設けることで、家庭間の支援力向上につながる可能性があります。	保護者会や父母の会開催要望が少ないため、周知方法や開催が確立していません。	保護者様からの開催要望が少ないため、個別での相談対応等を実施しております。今後要望が増えてきましたら、開催等も含めて検討したいと考えております。
2	地域や他事業所との交流やつながり	地域のフットサルコートの使用やスーパー、コンビニ等に出かけることもありますが、実施の参加者や機会が限られています。	今後も、イベントなどを通して地域の方と接する機会や事業所の周知も行えるように工夫してまいります。
3	事故対応や災害時の対応マニュアル等は保管しておりますが、保護者様への共有が伝わりにくい状況になっています。	保護者の方への情報発信を行っていく必要がある	個別に報告させていただきだけでなく、ブログや日々の活動記録にて情報を発信していく必要がある